



# 遠見番所の復元が完成!!

平成16年度には、遠見番所の復元を始めとして、屏風山側の木柵や調度品の復元、周辺環境整備として電線類の地中化の準備や杉並木の保全などを行いました。



遠見番所は屏風山側の高台にあり、足軽番所の裏側からの石段を登ると着きます。

遠見番所は2階建ての物見やぐらのような建物で、一辺の長さが約2.0×3.0m、高さが約5.0mあります。1階の内側の階段を登ると2階に出ます。1階は土間ですが、2階には畳が敷かれており、四方に格子がついた窓があります。建物は、渋墨(しぶすみ)で黒く塗られています。渋墨は柿渋と煤(すす)を混ぜたものです。

江戸時代、芦ノ湖を舟で通行することは禁止されていましたので、この遠見番所から、芦ノ湖を足軽が昼夜を問わず、交替で見張っていました。



## ホームページリニューアル

箱根関所の復元整備事業に関する情報をホームページで公開しています。復元が完成し公開している大番所・上番休息所などの建物の見所案内や、復元整備工事に関わる技術、箱根関所のエピソードなど、箱根関所についての情報が満載です。リニューアルされたホームページをぜひご覧ください。また、投稿コーナーを新たに開設しましたので、箱根関所復元整備についてのご質問やご意見をどしどしお寄せください。お待ちしています。

<http://www.hakonesekisho.jp>

# 木柵や調度品の復元、周辺環境整備も進む！



## 木柵の復元

京口御門から続く屏風山側の角柵や丸太柵の復元を始め、平成15年度に引き続き、江戸口御門から続く屏風山側の丸太柵の復元を行いました。角柵の柱の太さは縦横とも14cm、高さは2.1mあり、たいへん頑丈に作られていました。また、丸太柵の柱の太さは直径9~12cm、高さは2.1mあり、先端は尖っていました。ともに、渋墨で黒く塗られています。

## 調度品の復元

大番所・上番休息所や足軽番所、遠見番所などで使われていた桶や箱などの日常生活用具や弩瓢(どひょう)や三つ道具などの武器・武具類といったさまざまな調度品も、箱根関所の役人が書き残した『箱根御関所日記書抜』などの史料に基づき、平成15年度に引き続いて復元を行いました。



## 電線類地中化

周辺環境整備として、箱根関所に隣接する電柱や電線類を地中化し、箱根関所にふさわしい景観に整備をしていくというものです。電線類の地中化が完了すると、商店街から京口御門を始めとする箱根関所の建物が、電線類に邪魔されずにしっかりと見えるようになります。まずは、その準備の一つとして、電気や通信の線を入れるための管を埋設しました。

## 箱根旧街道杉並木の保全

箱根関所に隣接する杉並木は、活力の状況が大変悪くなっていることが分かりました。そこで、これも周辺環境整備の一つとして、並木杉の根に若い杉の根を継いで、そこから土中の栄養分や水分を並木杉に吸収させようとする「根継ぎ」という方法で、活力向上のための保全対策を行いました。

## 箱根関所の柵列2

江戸時代、箱根関所周辺、現在の神奈川県立恩賜箱根公園の駐車場には「新谷町」、京口御門側の商店街には「新町」と呼ばれた町並みがありました。これらの町で夜間に火事が起きると、箱根関所では一斉に足軽が外へ出て、関所の周辺に廻らされた木柵に灯りをつけて回りました。これは、火の粉が飛んできて、関所の建物や周辺に引火しないように見張るのはもちろんですが、この期に乘じて、関所破りをしないようにと見張るためでもありました。



箱根町教育委員会生涯学習課  
箱根関所整備事業推進室

TEL 0460-5-7601  
<http://www.hakonesekisho.jp>